

# 再稼働めぐり知事らと協議

## 柏崎刈羽 経産相、地元同意に向け

斎藤健経産相は19日の閣議後会見で、新潟県の花角英世知事と18日に電話協議し、東京電力柏崎刈羽原発の再稼働に

理解を求めたことを明らかにした。斎藤氏は「地元（元）の理解を得られるよう、しっかりと説明していく」と述べ、21日に村

瀬佳史資源エネルギー庁長官を現地に派遣する考えを示した。

同原発はテロ対策の不備が判明したため、原子力規制委員会が2021年に事実上の運転禁止命令を出した。昨年末に解除したが、再稼働には地元同意が必要となる。

斎藤氏は18日、花角氏のほか、柏崎市の桜井雅浩市長、刈羽村の品田宏夫村長とも電話で協議。東電から「安全対策の取り組み」の報告を受けたことや、能登半島地震を踏まえた原子力災害対応に

の電話に「『ついに来たな』ということだ」と記者団に発言。ただ、同意については「県では安全な避難の課題や、安全対策の確認をしている。進み具合を見て（判断する）ということになると思う」と述べた。

（福山亜希、井上亮寛）